

(様式2)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度:平成26年度】

※1～6:所管課記入、7:指定管理者記入、8～9:指定管理者及び所管課記入、10:指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

所管部・課	建設部都市・まちづくり課(安曇野建設事務所)
指定管理者	(一財)公園財団

1 施設名等

施設名	長野県烏川溪谷緑地	住所 電話 ホームページ	長野県安曇野市堀金烏川26 0263-73-0203 http://karasugawa.com/
-----	-----------	--------------------	---

2 施設の概要

設置年月	平成14年4月	根拠条例等	長野県都市公園条例
設置目的	住民福祉の増進に寄与することを目的として、貴重な自然環境の保護・保全に配慮し、一般住民に自然とのふれあい、自然体験・学習、レクリエーション、文化活動などの場を提供するため。 この目的達成のため、行政と市民との協働による緑地の管理・活動を実施。		
施設内容	水辺エリア:環境管理棟、トイレ、駐車場、園路、溪流園地、あづまや、展望台、ピオトープロ 森林エリア:森の家、あづまや、森林トイレ、駐車場、園路 開園面積:49.67ha		
利用料金	無料		
開所日	・管理事務所開所日:1/4～12/28(閉所日は12/29～1/3) ・トイレ4箇所冬季閉鎖(12/1～3/31)		
開所時間	管理事務所開所時間:8時30分から17時30分まで		

3 現指定管理者前の管理運営状況

期間	管理形態	管理受託者又は指定管理者等
～平成21年度	直営	—
平成22年度～24年度	指定管理	(一財)公園財団

4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	(一財)公園財団	指定期間	平成25年4月1日～30年3月31日(5年間)
選定方法	公募(応募者数:4)		

5 指定管理料(決算ベース)

平成26年度(A)	平成25年度(B)	差(A)-(B)	※(A):当該年度、(B):前年度(以下同じ)
31,431千円	30,500千円	931千円	
	増減理由	消費税引上げ及び電気料値上げ分を増額	

6 指定管理者が行う業務

・本緑地(備品等を含む)の維持管理、利活用に関する業務及びこれに付帯する業務 ・「烏川溪谷緑地市民会議」の運営、活動等に関する業務及びこれに付帯する業務

7 利用実績等

(1) 利用実績【指標:利用者数・利用件数・稼働率】

(単位:人、件、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成26年度(A)	2,350	4,810	2,700	3,580	6,230	3,280	2,090	1,180	420	430	550	690	28,310
平成25年度(B)	2,090	2,930	3,090	4,070	10,220	1,900	1,440	1,870	490	520	410	280	29,310
(A)/(B)	112.4	164.2	87.4	88.0	61.0	172.6	145.1	63.1	85.7	82.7	134.1	246.4	96.6
増減要因等	4月、5月においてはゴールデンウィーク期間中天候不順もあったが、好天に恵まれ昨年より利用者が増加した。 7月、8月において週末毎の天候不順がたびたび重なり、減少となっている。 9月以降は日々コンスタントな散策等利用者があり昨年を上回る利用となった。 総合的には夏期繁忙期の天候不順による減少はあったものの、安定した利用により1000名程度の減少にとどまった。												

(2) 利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成 年度(A)													0
平成 年度(B)													0
(A)/(B)													
増減要因等													

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
無	

(4) 開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
平成26年度(A):359日	平成26年度(A):8:30～17:30	無	
平成25年度(B):359日	平成25年度(B):8:30～17:30		

(5) サービス向上のため実施した内容

・ビジターセンター機能の強化として、レクチャールームの剥製等標本の追加制作及び本緑地の旬情報、標本解説、園内ガイドを実施した。 ・ガイドを求めない利用者のためにセルフガイドを作成した。(紅葉、冬芽、木の実、鳥の羽、樹皮等) ・安曇野市内小学校の宿泊学習に伴う環境学習や近隣宿泊施設利用学校団体への環境学習対応を実施した。下見実施時に希望する学習内容及び実施方法を確認し、団体ごとのニーズに応じたきめ細やかな利用対応を行った。荒天時は雨天プログラム等時間短縮プログラム提供を行った。 ・繁忙期における円滑な駐車場利用を行うため、誘導員を配置し整理を行った。 ・日々の園内巡視の実施により、園内情報、自然情報の収集、把握に努め、レクチャールーム及び園内でのインタープリテーション実施に活用した。 ・環境管理事務所配置スタッフに対し「サービス接客検定」の資格取得を奨励し、インタープリターとしての資質向上に努めた。

(様式2)

(6) その他実施した取組内容

<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況に応じてトイレ清掃を高頻度で実施したほか、手洗い場に生花を飾るなど快適かつ清潔なトイレ環境維持に努めた。 ・バーベキュー利用者への利用指導、実施後の後始末の徹底の注意喚起を強化し、環境保全、景観保全、野生動物対策に努めた。 ・日々の巡視時において、通行や利用の支障となる樹木、枝、枯損木等をその場で処置し、利用者の安全確保に努めた。

(7) 利用者の主な声及びその対応状況

・動物のフンに関するご意見 動物の糞が多い	⇒野生動物のフンはスタッフが巡回時清掃、ペット動物(犬)は利用者へのマナー向上(マナー袋配布)、利用案内を実施しました。
・樹名札に関する要望 樹名札を設置してほしい	⇒森林エリアに関しては充実してきており、水辺エリアについても順次対応します。
・水に関する企画について要望	⇒水生昆虫や利水の歴史・文化などこれまでも実施、年度計画の中でバランスよく企画します。
・樹木伐採樹林の手入れに関するご意見 松枯れ病対策について	⇒利用者の安全を確保しながら計画的に樹木の保全管理を行います。
・レクチャールーム見やすさへの要望	⇒展示物を関連するグループごとに整理し、展示ネームプレート及び解説を設置した。
・イベント参加者に応じた解説実施の要望 解説が参加者の年齢に対応していない	⇒講師との事前打ち合わせ等で参加者の年齢層、内容等についてきめ細やかな運営に反映します。
・イベント広報実施時期に対する要望 もっと早く情報提供してほしい	⇒公平性を保つため、1ヶ月前からの受付を実施。今後の広報計画、情報発信の方法について検討します。
・イベント会場室温管理に関する要望 冬季イベント時の室温について	⇒イベント会場が寒いとのことを受け、当日の気象状況等を確認し適切な温度管理を行います。

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指定管理者	所管課	評価
施設の目的に沿った管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・烏川の貴重な自然を守り、動植物の保全・育成活動を推進するため、植物管理においては、緑地スタッフ1人1人のスキル向上に向け、経験豊富なスタッフと同行の上作業を実施した。除去すべき植物、保全活用すべき植物、動物・昆虫等が利用する植物などきめ細やかに対応しながら維持管理を実施した。 ・園内利用においては、安全、清潔な環境づくりに向け、利用者への案内、前日等の利用状況を踏まえ徹底した清掃管理により良好な利用環境の維持に努めた。特にBBQ利用に関してお客様への利用方法案内、環境保全への協力チラシの手渡し及び片付け協力依頼を積極的に行った。 ・地元安曇野市及び松本市をはじめとする学校団体利用における環境学習では、河川、樹林等緑地の自然資源を最大限活用し、自然体験型環境教育の場としての利活用及び普及啓発に努め、質の高いプログラム提供を行った。 ・近隣宿泊施設との連携による学習旅行団体への環境学習プログラムの提供を行った。 ・市民協働・地域連携を推進するため、定期的に運営委員会及び本会議開催、市民と協働したイベント開催による利用促進や情報収集を実施した。さらに、地域とともに緑地を育むため、緑地内での植物調査等実施のサポートも行った。 ・安全、安心を第一に、心癒される緑地を提供するため、スタッフの挨拶をはじめ、利用者が気持ちよく過ごすことのできる環境づくりに努めた。巡視の際徹底した支障樹木、支障枝、枯損木の除去により利用者安全の確保を行った。 ・笹刈り、落ち葉掃き、除草作業などは、地元NPO法人障がい者活動支援団体やシルバー人材センターと連携し、障がい者及び高齢者の活動や労働の場の創出、地域社会活性化に貢献した。 ・長野県が推進する、クールシェアスポットへの登録により省エネルギー対策活動に参加し、夏季利用促進を行った。 ・建設事務所との連携によるツキノワグマ活動時期における利用者の安全確保。ツキノワグマ目撃情報、フィールドサイン確認状況により臨時閉園、利用制限区域の設定、笹刈等環境管理など迅速な対応を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書、仕様書および年度計画書に基づき、施設の設置目的に沿った運営管理を的確に実施したことが認められる。 ・業務に当たっては、市民会議事務局として県と市民会議との調整を密に行い、円滑な管理運営をしたことが認められる。 ・平成26年度は新たな試みとして、関係機関(団体)との連携により、障がい者活動の場の創出及び高齢者の労働環境の創出等の地域社会活性化に貢献するなど積極的に取り組んだことが認められる。 ・平成26年度は烏川渓谷緑地及び同緑地周辺に熊の出没情報が急増したため、その対応策として利用者の安全・安心確保をするなど迅速に行動したことが認められる。 	A
平等な利用の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや看板を通じて本緑地の利用方法やルールを正確に情報提供した。 ・ホームページ改修及びブログ立ち上げによる発信情報の見やすさの改善を行った。 ・イベント開催の際は受付時期を1ヶ月前とし、地元記者クラブへのプレスリリースによる申し込み者の平等性を確保した。 ・園内の利用指導として、特にバーベキュー等実施の際、タープ、シート等による場所取りなど独占的な利用とならないよう案内を行った。 ・平等利用の観点から、利用者の声を幅広く収集することを目的とした「モバイルご意見箱」を継続して実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理事務所スタッフが園内巡視を行う際は、利用者に対し親切に接し、丁寧な案内を行ったこと、また、小中学校等の団体利用予約の受付方法などを工夫し、誰もが楽しく緑地内を利用できるよう心掛けたことが認められる。 ・イベント開催の際は、マスコミへのプレスリリースを行い、利用者に対する平等な利用確保に努めたことが認められる。 	A

<p>利用者サービス向上の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公式HPの改修を行うと共に随時更新を行い、園内の自然資源やイベント情報の告知及び旬情報提供に努めた。(HPアクセス件数25,407件。) ・イベント終了後、参加者アンケートを実施。利用者ニーズを把握し、管理運営へ反映するための判断材料とし、サービスの提供や改善に努めた。 ・利用満足度を図るためアンケート調査を実施。利用者のご意見を収集し管理運営に反映させた。 ・イベント開催においては、緑地内の自然資源、環境資源を最大限活用すべく企画内容を吟味し、参加者の満足度の高いイベントを実施した。参加者からの期待度の高いカタクリやオオルリ観察のイベントや、アブラムシ、水生昆虫など普段では目にするものの少ない生物の学習会、歴史文化に関する学習会など、緑地の資源を活用した企画内容とし、幅広いニーズに対応したイベントを実施した。 ・イベント募集に際しては、松本市、大町市の市政記者クラブを活用。毎回ニュースリリースによりパブリシティによる募集記事掲載に努めた。(19件掲載。安曇野市広報4件) また、近隣の図書館、公民館、宿泊施設等へのチラシを配布し、情報提供と参加促進に努めた。 ・当財団が共同体代表として維持管理を行う国営アルプスあづみの公園堀金・穂高地区及び大町・松川地区においてもチラシを配布し情報提供と参加促進に努めた。 ・繁忙期には管理事務所スタッフ及び専門スタッフによる駐車場誘導を行ない円滑な利用環境創出に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公式HPによる情報の発信、プレスリリースや安曇野市広報への掲載など利用者に向けての情報発信に努めた。 ・利用者及びイベント参加者のアンケートから利用者ニーズの把握に努め、業務改善等に反映させた。 ・緑地の資源を活用した企画を多く取り入れ、幅広いニーズに対応したイベントを開催し、多くの参加者から好評を得ており、自然体験型環境教育の場として利用者、参加者から大いに期待されている。 	<p>A</p>
<p>自主事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業イベントにおいては、クラフト体験参加者16名、グローイングUPワイルド環境学習指導者養成講座は2名であり募集人員に対し集客人員が少なかった。グローイングUPワイルドについては催行人数に満たないため中止した。今後効果的に集客を図るため、実施時期や広報等実施方法の再検討を行う。 ・園内で発生した間伐材売却を行った。 ・間伐材売却費及びイベント参加費(材料代)市民会議活動支援費として管理運営に活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県、市民会議と協議しながら、緑地の保護、保全を目的としたボランティア活動を実施し、園内で発生した間伐材の売却益を市民会議活動支援費に充てる等、創意工夫が見られた。 	<p>B</p>
<p>職員・管理体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員:5名、臨時職員:2名、計7名 ・普通救命講習修了者を配置し緊急時に備えた安全管理体制をとった。 ・「サービス接遇検定」有資格者を配置し丁寧な利用案内に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地の管理業務を行うために必要な知識と技術を持ち、経験豊富な職員が配置されている。 	<p>A</p>
<p>収支状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料収入31,431千円。支出 31,431千円。 ・自主事業 収入278百円。支出278百円。 ・指定管理収支においては、実施作業等への優先順位付により収支バランス良く効率的に管理運営ができた。 ・提案書人件費予算 16,873千円、H26年度実績15,714千円(増減の理由:雇用人員入れ替えによる雇用日数の減による) ・人件費等収支差額においては、修繕費及び委託料における園内修繕等作業費として効果的に活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地利用者へのサービス低下に繋がらないよう十分な管理運営をしており、運営費の執行に創意工夫がなされている。 	<p>A</p>
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管理期間も2年目を迎えた本年においては昨年度を踏まえながら、維持管理(植物管理、施設管理)、利活用、市民会議活動に関する業務、また、隣接する宿泊施設との連携により宿泊団体への環境学習プログラムの実施など、円滑に運営することができた。 ・施設の維持管理においては老朽化箇所の抽出及び優先順位付けにより効率的に修繕を行った。 ・自主事業においては、イベントプログラム募集人員の未達等課題が残った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地利用者からのアンケート調査の結果内容は約9割近い人達が満足・やや満足と回答しており、この実績を維持するとともに、自主事業については、引き続き地域住民のイベント参加及び小中学校等団体の学習参加を進めていただきたい。 ・当該指定管理者はイベント開催を中心とした地域住民との交流を盛んに行っており概ね好評な評価が利用者から得られている。 ・指定管理者により提出された収支状況を確認した結果、健全な運営業務であることが確認された。 ・以上のことから、協定事項等の水準どおり施設運営がなされていると判断し総合評価をAとした。 	<p>A</p>

<評価区分> A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
 B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。
 C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
 D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

9 施設管理運営の課題

項目	指定管理者	所管課
<p>施設の管理運営の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・腐朽、劣化による木製工作物の老朽化対策。 ・緑地内に野積みされる間伐材の不朽に伴い発生する昆虫の採餌行動に関連したツキノワグマ対策。 ・緑地内におけるBBQ等利用者のゴミ散乱、野生動物への影響に関する対策。 ・愛犬家による園内利用マナー、無駄吠え、リード外し、糞の片付け。 ・繁忙期における駐車場対策。(BBQ利用者の長時間利用は平成27年度4月以降解消。夏期におけるキャンパシ不足) ・たばこの吸い殻のポイ捨てや分煙が困難な施設での喫煙対策。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画による計画的な対応と指定管理者が行う緊急対応の綿密な調整を図り、迅速な対応に努めたい。 ・信州大学泉山教授のご意見を伺いながら対策を検討したい。 ・平成27年4月17日より本緑地全域でのバーベキューを禁止とした。 ・愛犬連れ利用者へのマナー向上を指定管理者と協力して呼び掛けたい。 ・繁忙期の駐車場対策として、必要に応じて誘導員を複数人配置するなどの対応を指定管理者と調整したい。 ・分煙又は敷地内禁煙の対応を指定管理者と調整したい。